

■期末・勤勉手当の状況 (平成30年度分)

区分	期末手当	勤勉手当	1人当たり平均支給額
宇陀市	2.60月分	1.85月分	1,695千円
国	2.60月分	1.85月分	—

■その他の手当の状況

(平成30年度 普通会計決算)

手当の名称	支給実績(千円)	1人当たり平均支給額(千円)
地域手当	45,030	129
特殊勤務手当	2,537	32
時間外勤務手当	107,038	581
扶養手当	46,274	232
住居手当	15,627	87
通勤手当	24,811	90
管理職手当	47,460	558

■特別職の報酬などの状況 (平成30年度分)

区分	給料・報酬月額(円)	期末手当	勤勉手当	退職手当(算定方法)
給料	市長 697,000(820,000)	3.35月分	—	給料月額×勤続年数×520／100
	副市長 612,000(680,000)			〃 × 330／100
	教育長 513,000(570,000)			〃 × 240／100
報酬	議長 430,000	3.35月分	—	
	副議長 360,000			
	議員 330,000			

■職員の勤務時間・その他の勤務条件の状況

■勤務時間 月～金曜日(休日・祝日を除く)

午前8時30分～午後5時15分(うち休憩時間60分)

※週休日、祝日に開館している施設については、4週間で8日の週休日を設けています。

■年次有給休暇、特別休暇

○年次有給休暇：1年に20日(現年付与分のみ繰り越し可能)。

○病気休暇：負傷または疾病のため療養する場合の休暇(90日)。

○特別休暇：骨髄提供のための休暇、裁判員等として出廷するための休暇、ボランティアのための休暇、結婚休暇、産前・産後休暇など

■職員の服務(地方公務員法第30条に基づく)

①法令等及び上司の職務上の命令に従う義務 ②信用失墜行為の禁止 ③秘密を守る義務 ④職務に専念する義務 ⑤政治的行為の制限 ⑥争議行為等の禁止 ⑦営利企業等の従事制限

■職員の研修の状況

○奈良県市町村職員研修センター実施分

各種階層別研修(新規採用/中堅)

専門研修(簿記入門/地方公会計基礎実務/人事評価研修/補助事業執行事務適正化研修/建築技術系など)

■独自研修

サポートが必要な方への接し方研修/メンタルヘルス研修など

■分限・懲戒処分、公平委員会への措置要求、不服申立

■分限処分と懲戒処分(平成30年度)

処分の種類	処分者数(人)	処分の種類	処分者数(人)
分限 降任	—	懲戒 告	—
免職	—	減給	—
処分 休職	14	処分 停職	1
分限 降給	—	免職	—

※分限処分とは、心身の故障等により職務を果たせない場合に公務能率を維持するための処分をいいます。

※懲戒処分とは、公務員としてふさわしくない非行があった場合に行う処分をいいます。

■公平委員会の状況(平成30年度)

■区 分

勤務条件に関する措置の要求	0
不利益処分に関する不服申立て	0

※職員は、給与など勤務条件に関し、公平委員会に対し、市の当局より適切な措置をとられるよう要求することができます。また、懲戒処分など不利益な処分を受けたときは、同委員会に対し不服申立てをすることができます。

市職員の給与は、「宇陀市的一般職の職員の給与に関する条例」のほか、関係条例・規則等の規定に基づき支給しています。また、市職員の定員管理等の詳しい内容は、ホームページで来年5月頃公表します。

■退職者の再就職状況の概要

(平成31年3月31日退職者)

区分	再就職の届出があった者(人)	市以外に再就職(人)		
		民間企業	国・地方公共団体	公共的団体等
課長級以上の職にあった職員	10	1	9	—

市職員の給与は、「宇陀市的一般職の職員の給与に関する条例」のほか、関係条例・規則等の規定に基づき支給しています。また、市職員の定員管理等の詳しい内容は、ホームページで来年5月頃公表します。

■退職手当の状況(平成31年3月31日現在)

区分	自己都合	勤続・定年
支給率	勤続20年 20.445月分	25.55625月分
	勤続25年 29.145月分	34.5825月分
	勤続35年 41.325月分	49.59月分
最高限度	49.59月分	49.59月分

その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(定年前1年につき3%)

1人当たり平均支給額	1,183千円	17,685千円
------------	---------	----------

市職員の給与と職員数など、人事行政の運営状況をお知らせします

地方公務員法第58条の2の規定に基づき、市的人事行政運営の公正性と透明性を高める目的で、職員の給与や職員数、勤務条件などを公表します。

人事課(☎82・1303/IP ☎88・9069)

■給与、職員の任免および職員数に関する状況

○職員数は平成30年度から31年度において、新規採用者数が31人、退職者数が21人、全体で10人の増数となりました。

■職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数(人)A	給与費(千円)					一人当たり給与費(千円)B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	対前年比較	
H28年度	365	1,447,424	275,819	604,764	2,328,007	—	6,378
H29年度	354	1,383,959	276,318	590,017	2,250,294	△77,713	6,357
H30年度	348	1,413,534	294,102	589,799	2,297,435	47,141	6,602

職員数は、各年4月1日現在における普通会計に属する職員数

○平成30年度においては、国家公務員の給与水準が引き上げられたことに伴い、宇陀市においても同様の改定を行いました。

○普通会計とは、市の全部の会計から公営企業などの特別会計(病院、水道、介護老人保健施設、下水道など)を除いたものです。

■人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(人)A	人件費(千円)					人件費対前年比較(千円)
		歳出額(千円)A	歳出額(千円)B	歳出額(千円)C	人件費率B/A(%)	人件費率C/A(%)	
H28年度	31,254	18,508,134	368,337	3,544,338	19.1	—	—
H29年度	30,731	18,536,076	366,026	3,404,518	18.4	△139,820	—
H30年度	30,226	18,248,909	235,377	3,386,719	18.5	△17,799	—

住民基本台帳人口は、各年3月31日現在の人口

※人件費には、職員給与のほか、議員・委員等報酬、特別職給料、市町村職員共済組合負担金などを含みます。

■部局別職員数の状況と増減数

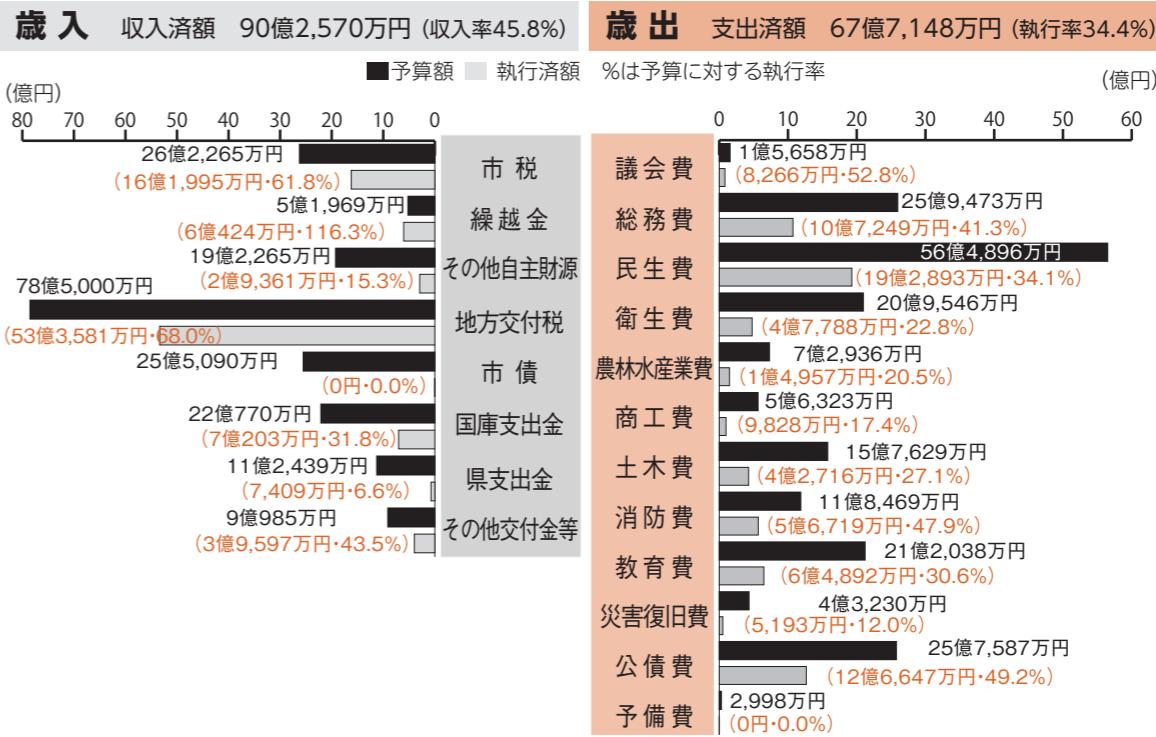
(各年4月1日現在)

予算執行状況報告

皆さんに市の財政状況を知つていただきため、各会計の上半期執行状況をお知らせします。

※企業分のお問い合わせは、各企業へ

一般会計 福祉や教育をはじめ、市の行政運営の基本的な経費が計上されている会計です。今年度の一般会計予算は、当初に 180 億 8,668 万円の予算を計上し、前年度から 11 億 4,732 万円と上半期の補正予算 4 億 7,383 万円を合わせると 9 月末現在の予算現額は、197 億 783 万円となっています。これは、昨年度の同時期と比べると、2 億 693 万円の増となっています。



特別会計 特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理するための会計です。

特別会計名	予算現額 (9月末現在)	収入済額	支出済額
住宅新築資金等貸付事業	3億1,140万円	1,001万円 (3.2%)	3億74万円 (96.6%)
靈苑事業	1,610万円	132万円 (8.2%)	599万円 (37.2%)
国民健康保険事業 (事業勘定)	39億3,750万円	17億8,109万円 (45.2%)	15億2,473万円 (38.7%)
国民健康保険事業 (診療施設勘定)	9,710万円	2,131万円 (21.9%)	2,893万円 (29.8%)
介護保険事業	42億4,150万円	17億2,698万円 (40.7%)	16億9,296万円 (39.9%)
下水道事業	8億1,470万円	1億590万円 (13.0%)	3億3,593万円 (41.2%)
土地取得事業	3億1,260万円	2億9,052万円 (92.9%)	2億9,052万円 (92.9%)
後期高齢者医療事業	5億730万円	1億6,969万円 (33.5%)	1億7,566万円 (34.6%)
合計	102億3,820万円	41億682万円 (40.1%)	43億5,546万円 (42.5%)

企業会計 民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計で、市では水道局・市立病院・さんとぴあ榛原・美榛苑を企業運営しています。

水道事業		市立病院事業	
収益	5億4,673万円	費用	5億740万円
営業収益	2億9,741万円	営業費用	4億7,357万円
給水収益	2億9,727万円	給与費	4,543万円
その他	14万円	県水受水費	9,174万円
営業外収益	2億4,932万円	減価償却費	2億6,620万円
		その他	7,020万円
		営業外費用	3,382万円
		特別損失	1万円
収益	16億3,892万円	費用	16億3,652万円
医業収益	15億4,091万円	医業費用	16億597万円
入院収益	10億2,170万円	給与費	9億3,218万円
外来収益	4億6,164万円	材料費	2億4,409万円
その他	5,757万円	経費	2億9,341万円
医業外収益	9,801万円	減価償却費	1億3,208万円
		研究修繕費	376万円
		負担金	45万円
		医業外費用	3,032万円
		特別損失	23万円

介護老人保健施設事業			
収益	2億3,355万円	費用	2億1,759万円
施設運営事業収益	2億3,169万円	施設運営事業費用	2億1,327万円
介護報酬収益	1億9,963万円	給与費	1億4,053万円
施設利用料収益	3,179万円	材料費	1,961万円
その他	27万円	経費	4,266万円
施設運営事業外収益	186万円	減価償却費など	1,047万円
		施設運営事業外費用	432万円

美榛苑事業			
収益	3,141万円	費用	3,040万円
営業外収益	3,141万円	営業費用	2,209万円
一般会計補助金	3,036万円	美榛苑経営費	255万円
雑収益	105万円	減価償却費	1,954万円
営業外費用	831万円	支払利息等	33万円
支払利息等	798万円	雑支出	798万円

宇陀市の給食が全国へ

全国学校給食甲子園 全国大会へ出場

県内最多4度目!

第4次審査では
こんな講評を♪

12月7日・8日に女子栄養大学駒込キャンパス(東京都)で開催される第14回全国学校給食甲子園決勝大会に、中部・近畿ブロックの代表として市学校給食センターの出場が決定。この大会では実際に調理し、食センターや出場が決まります。コンテストのほか、食育授業コンテストも行なわれます。今回は、前回の準優勝を超える優勝を狙います!

オーソドックスで食欲をそそる献立である。地域の産物を活かし、減塩に努力しながらもおいしそうに見える献立が出来上がった。食材の工夫が見られる。ハンバーグに調味料を使わず、奈良漬けて味付けしており、ゴボウ、黒豆など地場産物を使ったユニークなものだ。

郷土料理に重点を置き、出汁に注目した食育の観点もいい。



パブリックコメントを実施

(仮称)障害者コミュニケーション条例(案)をみんなで考えましょう

問介護福祉課 (☎82-3675/IP☎88-9088)

この条例は、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段についての基本理念を定め、多様なコミュニケーション手段を利用しやすい生活環境を構築することで、障がいの有無によつて分け隔てられることなく、共生できる社会の実現を目指すものです。この度、本条例の素案がまとまりましたので、これを公表し、広く皆さんからの意見を求めるパブリックコメントを実施します。なお、寄せられたご意見については、ホームページで公表を予定しています。

○市内在住、在勤、在学の方
○市内に事業所を有する個人および法人その他の団体
ページで入手できます。ページで入手できます。市ホームページページにも掲載
【意見の提出方法】
【閲覧場所】市役所介護福祉課
※市ホームページページにも掲載
り提出。様式は窓口もしくはホームページ

対象

募集期間

1月19日 (日)

12月20日 (金)

～令和2年



▲市特産品の宇陀金ごぼうを持つ出場選手の辻調理員(右)辰巳学校栄養職員(左)



【調理献立】さつまいも入り大和茶飯、牛乳、宇陀の牛肉と宇陀金ごぼうのハンバーグ(柿ソース)、きらすのたいたん、黒豆煮麺、大和の柿



12月には、大宇陀小学校で生産者をゲストに迎え、「親子ふれあいクッキング」を開催します♪これからも、「地元野菜がなぜいいか?」を伝えていきたいです

特集

市政トピックス

うだぢから

まちのわいだ

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだチャン

